

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 猛暑環境から市民をどう守る？体育館へのエアコン設置について 【質問趣旨】 令和5年9月議会において「瀬戸市屋内スポーツ施設及びプールにおける熱中症対策について」質問した。その際、本市の熱中症対策の方針と実施状況、小中学校・市民公園の屋内施設、プールにおける設備への対応方法を確認し、今年度も備品購入や改修工事など本市の熱中症対策は前進している状況である。しかし、愛知県における暑さ指数(WBGT)を基にした熱中症警戒アラートの発表された日(回数)を年別でみると、2021年21回、2022年13回、2023年28回、2024年は8月中旬で30回を超えている。(次ページへ)	(1) 猛暑環境下でのスポーツ活動について	①本年度、瀬戸市屋内スポーツ施設における熱中症の発生状況と、熱中症対策について取り組まれたことについて伺う。 ②本年度は例年を上回るペースで猛暑日が続いていたが、瀬戸市スポーツ施設は安全な環境であったと考えられるか伺う。 ③令和5年9月議会において、「熱中症の軽度な症状は把握が難しい。」と、小・中学校での懸念事項について答弁された。本年度、本市の小・中学校における熱中症の発生状況と熱中症対策について取り組んだことについて伺う。 ④小項目③と同様の理由により、学校での詳細な把握は難しいため熱中症ガイドラインによる中止基準に従い、運動の中止と体育館やプール使用の中止をされているという推察ができるが、今年度も昨年同様に小中学校において中止をされているか状況を伺う。 ⑤猛暑により子供たちが運動を行う機会が損失されていることについて、どのように考えているか伺う。 ⑥市内体育館における猛暑環境下のスポーツ活動について、市民からどのような意見が寄せられているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
厚生労働省の報告によれば、令和5年度の職場における熱中症による死傷災害の発生状況は1,106人(前年比279人34%増)であった。このように、熱中症は救急搬送、死亡する例もあり、高齢者・子供に関わらず、環境により誰しものが発症しうる危険性があり環境による災害といっても過言ではない。一方で、命の危険を冒してまで運動をする必要がないという意見もあるが、健康増進のためには定期的に運動を行う事、他者と関わる事が重要であり、その両方が実施できるのがスポーツ活動である。それを制限してしまう環境は、住みやすい環境ではない。危険なためと運動をやめさせるのではなく、安全にスポーツ活動を (次ページへ)	(2) 猛暑環境下での防災活動・地域活動について	①近年各地で頻発している地震や、南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど地震災害に対する整備は早急に整える必要があると考える。小中学校や、小学校跡地にある体育館は、災害時には活動の拠点となり、地域防災活動や避難者の受入れも行われる。そんな中、室温のコントロールができないことは、熱中症や低体温症などの二次災害を引き起こす可能性がある。対策として早期にエアコンの設置が必要と考えるが見解を伺う。 ②現状の換気と扇風機による対応のままでも、仮にエアコンが設置されることとなっても、停電時に電源の確保ができなければ室温のコントロールは困難になると予測される。災害時の猛暑環境下での防災活動時に、どのように電源を確保する予定か伺う。 ③小中学校や、小学校跡地にある体育館は地域活動でも使用することがあり、今夏も夏祭りにて利用している地域があった。しかし、猛暑の中で換気が不十分な状況や、WBGT計も無く、扇風機が明らかに不足している中で活動をしている場面も散見された。安全に持続的な地域活動をおこなっていくことが、本市が目指す都市像3「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」につながると考えられる。そうなるように市が環境を整えることが必要である。熱中症ガイドラインの徹底の促しや、同日に夏祭りを実施していない他地域から、大型扇風機やWBGT計の相互貸借をするなどの連携も必要と考えるが見解を伺う。 ④災害時の地域拠点としている体育館の使用について、市民からどのような意見が寄せられているか伺う。

(2 ページ)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
行える環境を整えることは、市民生活を考える上で重要である。さらに、体育館は地域防災拠点であり、災害の避難時に空調が整備されていないことは、発災時期によっては二次災害を引き起こす危険性が高まる。現状、本市の体育館の環境は、安心して住むこととかけ離れている。近年の猛暑環境は扇風機等の空気循環や自己判断・自助努力による対策では限界がある。本市が目指す「住みたいまち誇れるまち新しいせと」を実現するためには、猛暑による災害が起きないような環境を整えることが喫緊の課題であり、本市の体育館にエアコンを設置する計画を早期に立案し、実行に移す必要性について見解を伺う。	(3) 体育館にエアコンを設置する場合の優先順位について (4) 体育館にエアコンを設置する場合の財源について	①猛暑日の増加によってエアコンの需要は高まっており、いずれ体育館へのエアコン設置時期の検討を行っていく必要があると考えるが、設置する場合に小中学校体育館・小学校跡地体育館・市民体育館のどの順番で整備していく予定か優先順位と理由を伺う。 ②優先順位が後半となる施設に関しても、猛暑環境で危険な状況に変わりがないため、大規模な整備だけではなく、小規模でも良いのでエアコン設置や備品購入、クーリングシェルター等の対策をして、一時的でも施設利用者の体温を下げる必要があると考える。本市はそのような対策を検討しているか伺う。 ③小中学校体育館・市民体育館にエアコンを設置する場合に必要な予算額を伺う。 ④小中学校体育館・市民体育館にエアコンを設置する場合の財源確保の方法を伺う。 ⑤市民の要望が高いのであれば、使用目的を体育館へのエアコン設置に限定したふるさと納税やガバメントクラウドファンディングも検討することも有効な手段であるが見解を伺う。 ⑥小中学校体育館・市民体育館へのエアコン設置後にはランニングコストや数十年後の入れ替え費用が発生するが、その予算確保の方法を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
2 『せと未来マップ』をどう描く？part 2 尾張瀬戸駅を中心拠点とした中央地域のまちづくりについて 【質問趣旨】 先の6月定例会の一般質問において、残り約3年となった第6次総合計画（6次総）のこれまでの取り組みの成果と進捗状況の確認、そして、本市の駅周辺環境（新瀬戸駅・瀬戸市駅、瀬戸口駅・山口駅）から第7次総合計画（7次総）策定に向けた、本市の将来像を伺った。 6次総において最も重要視されたのは根幹にある人口減少への課題と対策である。『瀬戸市人口ビジョン』による将来人口の目標値と現在の人口を比較すると、 (次ページへ続く)	(1) これまでの取り組みについて (2) 尾張瀬戸駅東部エリアの人口密度減少・老朽木造棟数・人口減少・超高齢化について	①瀬戸市都市計画マスタープラン（都市マス）P42には、6次総の将来目標人口は令和8年に126,700人とされているが、令和6年8月時点で本市の人口は126,713人となっている。この状況について見解を伺う。 ②都市マスの『第2章 都市づくりの現状と課題』のP12、P13には平成17年から27年の人口が10%以上減少し、高齢化増加率も10%以上と増加している地域として、深川・古瀬戸・祖母懐の尾張瀬戸駅東部エリアと原山台・萩山台・八幡台の菱野団地周辺エリアが抽出されていた。そして、P15には「人口減少・超高齢化」並びに「中心市街地や菱野団地の高齢化対策、年齢構成への偏り」が課題とし、対応が必要とされていたが、両エリアが6次総における重要な地域であったという認識に相違がないか確認する。 ③尾張瀬戸駅東部エリアの6次総計画時の特徴を伺う。 ④6次総計画時に尾張瀬戸駅東部エリアの課題として何が抽出されていたか伺う。 ①人口密度減少による空洞化・老朽木造棟数が多かった件に関して現在どのように変化しているか伺う。（都市マス作成時の平成27年と現在を比較） ②尾張瀬戸駅東部エリア（深川・古瀬戸・祖母懐）のそれぞれの人口の変化を伺う。（都市マス作成時の平成27年と令和6年4月を比較）

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
目標値より若干下方に推移しているが、一定の効果が得られた。そして、これまでの効果を検証しつつ、6次総に掲げた目標が達成できるように職員一丸となり取り組みを進める。6次総の総括と並行して、7次総へつなげていくと答弁された。 本市の都市づくりの理念は「鉄道により周辺都市とつながる強みを最大限に生かした都市づくり」・「子育て世代が便利に安心して暮らせる都市づくり」とされており、今回は尾張瀬戸駅周辺環境について6次総の効果検証と、7次総に向けた本市の将来像を伺う。	(3) 尾張瀬戸駅の利用者・観光客入込客数の伸びと観光産業について	①都市マスでは、尾張瀬戸駅の利用者減が指摘されていたが、尾張瀬戸駅の乗降者数の推移を伺う。(都市マス作成時の平成27年度と令和5年度を比較) ②本市は尾張瀬戸駅東エリアの産業に対して、様々な取り組みを行っている。一例を示すと、陶磁器関連施設として、「新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館、ノベルティ・こども創造館、瀬戸蔵ミュージアム」、商店街には「商業団体等事業補助金、中心市街地商店街空き店舗補助金」、次世代育成と定着を促進し「ツクリテ支援、ツクリテ支援補助金等」として毎年約1億5千万円近い予算措置をしている。これらの産業振興における取組が観光客の増加にも繋がっていると考えerが見解を伺う。 ③観光プロモーションの推進による旅行商品で催行されたツアー数は、平成29年の8ツアーから令和5年には134ツアー、ツアー実施会社数は、平成29年の5社から令和5年には73社と推移している。都市マスでは、観光客入込客数の伸び悩みが指摘されていたが、現在の状況と見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員																									
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）																								
		④尾張瀬戸駅東エリアの市営駐車場（パルティセと・瀬戸蔵・宮川駐車場）の利用台数と駐車場使用料は以下の通りである。商店街に近い駐車場の長時間利用台数と使用料金が増額しているということは、商店街周辺の利用者が増えているということが想像できるが見解を伺う。（コロナ前の令和元年度と令和5年度を比較） 参考 <table><tr><td>パルティセと</td><td>利用台数</td><td>令和元年度 150,797 台</td><td>令和5年度 142,415 台</td></tr><tr><td></td><td>駐車場使用料</td><td>令和元年度 10,352,500 円</td><td>令和5年度 10,220,100 円</td></tr><tr><td>瀬戸蔵</td><td>利用台数</td><td>令和元年度 58,495 台</td><td>令和5年度 92,289 台</td></tr><tr><td></td><td>駐車場使用料</td><td>令和元年度 4,394,400 円</td><td>令和5年度 11,426,800 円</td></tr><tr><td>宮川駐車場</td><td>利用台数</td><td>令和元年度 63,166 台</td><td>令和5年度 83,708 台</td></tr><tr><td></td><td>駐車場使用料</td><td>令和元年度 2,745,000 円</td><td>令和5年度 5,317,300 円</td></tr></table> ⑤都市マス P75 には「尾張瀬戸駅周辺にある無風庵、旧山繁商店、陶祖公園等を陶の路で結び、まちなみを保全しながら、飲食店やポケットパークなどの歩行者空間を整備します。」と記載されているが、現在までに各所へいくら費用をかけ、現在どうなっているか伺う ⑥本市の観光事業をどのように捉え、今後どのようにしていく予定か伺う。	パルティセと	利用台数	令和元年度 150,797 台	令和5年度 142,415 台		駐車場使用料	令和元年度 10,352,500 円	令和5年度 10,220,100 円	瀬戸蔵	利用台数	令和元年度 58,495 台	令和5年度 92,289 台		駐車場使用料	令和元年度 4,394,400 円	令和5年度 11,426,800 円	宮川駐車場	利用台数	令和元年度 63,166 台	令和5年度 83,708 台		駐車場使用料	令和元年度 2,745,000 円	令和5年度 5,317,300 円
パルティセと	利用台数	令和元年度 150,797 台	令和5年度 142,415 台																							
	駐車場使用料	令和元年度 10,352,500 円	令和5年度 10,220,100 円																							
瀬戸蔵	利用台数	令和元年度 58,495 台	令和5年度 92,289 台																							
	駐車場使用料	令和元年度 4,394,400 円	令和5年度 11,426,800 円																							
宮川駐車場	利用台数	令和元年度 63,166 台	令和5年度 83,708 台																							
	駐車場使用料	令和元年度 2,745,000 円	令和5年度 5,317,300 円																							

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 尾張瀬戸駅東エリアの市保有地の跡地活用について	①尾張瀬戸駅東エリアにある旧山繁商店は、国登録有形文化財であり歴史的価値もあり、観光活用ができれば本市の強みになる拠点である。一方で資金面の課題があり計画の進捗が停滞している。維持管理費の増加や、風化の危険性もあり早期に解決が必要な認識は過去答弁でも共有している。ふるさととの歴史・文化を守り、本市にとって本当に必要な施設であれば、ふるさと納税・クラウドファンディングの活用検討や、大阪府岸和田市の市指定文化財「五風荘」のように民間の力を借りて、指定管理者制度による文化財の活用をする方法も必要と考えるが、それらの方法を検討する可能性について見解を伺う。 ②深川小学校跡地の活用方法について今後の本市の方針を伺う。 ③陶器の街の強みや文化を生かし、観光に突出させ学びと遊べる施設、小さな子連れでも遊べる大きな日陰のある広場など、目的を持って人が集まる場所にするこ とで、尾張瀬戸駅東エリアの課題を解決し、本市の目指す都市づくりの理念に近い場所となると考えられるが見解を伺う。 ④本市の次期観光推進アクションプランに、これらの跡地活用も導入していくか見 解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。